

いかわ

IKAWA TOWNS.COM

No.582

平成 17年 5月 1日 発行

年に一度の健康チェック！～循環器健診がはじまります～
日本国花苑ものがたり（後編）



『ホタルの郷に賑わいを』

井川上流部・井内地区では、児童らによるゲンジボタルの幼虫の放流が行われました。

主な内容

- ・町の循環器健診..... P 2 ~ 3
- ・健康づくり・はつらつ歩こう会参加者募集... P 4 ~ 5
- ・井川町発足 50 周年等記念式典日時・町内会長会議・町長日記抄..... P 6 ~ 7
- ・日本国花苑ものがたり..... P 8 ~ 9
- ・公民館だより・花いかた..... P10 ~ 11
- ・まちの話題..... P12 ~ 13
- ・くらしの情報、見てみて、みんなの広場... P14 ~ 19

人口などの動き

(4月1日現在)

- ・人口 男 2,832人 (-46)
 - 女 3,171人 (-16)
 - 計 6,003人 (-62)
 - ・世帯数 1,766戸 (+6)
- () 内は前年同月との比較

慶 弔 だより

(3/21~4/20)

■お誕生おめでとう

伊藤 優 (誠晃、恵子) さくら

板垣 美咲 (政範、清子) 羽立

伊藤 雅基 (国秋、真由子) 羽立

渡部健志郎 (健太郎、恵) 小泉

■ご結婚おめでとう (転入)

♡ 遠藤 慶太 今戸 (新本籍) (新住所)
菊地 葵 平鹿町 今戸 (今戸)

■ご結婚おめでとう (転出)

♡ 島山賢太郎 秋田市 (新本籍) (新住所)
伊藤 由佳 横岡 湯上市 (秋田市)

■お悔やみ申し上げます。

渡部 トキエ (89歳・馨) 新間

山崎 チヨ (94歳・勝又一衛) 宇治木

古行 セツ (98歳・本人) 綱木沢

白川 吉治 (66歳・本人) 田中

遠藤 チエ (84歳・清太郎) 今戸

小林 弥兵衛 (70歳・本人) 施田

鈴木 スエノ (93歳・武次) 保野子

本城谷 春雄 (61歳・本人) 綱木沢

善意

■地域福祉基金へ

・今戸町内の遠藤清太郎さんより、亡母チエさんの香典返しとして5万円。

・宇治木町内の勝又一衛さんより、亡母山崎チヨさんの香典返しとして2万円。

“ありがとうございました”

施設の利用状況 (3月)

()内は累計

- 環境改善センター..... 881人 (14,370人)
- 歴史民俗資料館..... 25人 (326人)
- 町民体育館..... 1,375人 (21,290人)
- 町民武道館..... 596人 (9,424人)
- 町営野球場..... -人 (5,058人)
- スポーツ交流館..... 915人 (4,854人)
- 定住促進センター..... 1,237人 (18,378人)
- 日本国花苑施設..... -人 (17,000人)
- 赤沢山スキー場..... -人 (2,450人)
- 老人福祉センター..... 1,726人 (19,147人)
- ごみ処理量..... 87t (1,051t)
- し尿処理量..... 85ℓ (1,120ℓ)

ふるさとをみつめて

24

~町内だより



大倉

交流の場住民同士の語らいの大切さを再確認

大倉町内は井川町のほぼ中央に位置する、戸数四十二戸の町内です。高速道路が町内を横断しており、その建設工事にもなつて昔からの家屋が移転し、景観が一転したのが平成十四年のことでした。

高速道路の計画当初は騒音公害等が地元住民の間で心配されていましたが、住めば都へ慣れれば...で、高速道路も今では町内の風物詩の一つとなつていようです。

町内会の主な行事としては、二年に一度六月に開催される三町内八幡・大倉・保野子の運動会。しかし、ここ数年は雨天などにより中止となつており、町内の交流の場が少なくなつていのが現状です。

わが大倉町内も少子高齢化という時代の趨勢により、毎年五月五日の祭典では子供育成会主催の子供神輿は年々寂しい状態が続いています。平成十四年度に町から美しいまちづくり事業・モデル町内の指定を受け、老人クラブの協力により花だんづくり等を実施してきました。また、昨年、平成十六年八月には町内会および町内各種団体の協力により、大倉分館広場で実施した町内交流会(懇談会と焼肉大会)には全戸数の二倍近い人数の参加者を集め、互いの近況を語り合うという一大イベントとなりました。

近年の「隣は何をする人ぞ」と都会並みに人との交流が希薄になりつつあることを思うに、地域交流の場となる町内会活動を今後も継続させていきたいと思つています。

(大倉町内会長 工藤金作さん)

「写真、午後イチまでにプリントしてください」午前中に行われた行事でも、事前に現像へ出すと、三〇分そこそこでプリントされた写真を手にすることができ、午後イチで印刷へまわすことも可能。極めつけはデジカメ。瞬時に「データで送りますので、ご確認を...」。「資料はフロップスで送っておきます」、回答は今日中にメールで...。近頃ではごく当たり前に交わされる会話。人や物が移動しなくとも情報は事務所所に居ながら方々へ配信できます。あらゆる面で処理スピードが求められる時代。機器の進化、技術の進歩に後追いされるのは、一人ひとりの能力? なんて皮肉に思うほど、時間には追われて余裕がない証拠だったり。今まで手渡していたものが、移動時間無く相手に届いてしまふ。しかし決して時間には余裕が生まれた感じがしないのは、私だけでしょうか? 四月も末になり、ようやく県内でもチヲハラと桜の便りが聞こえてきました。人間の力ではどうにもならないのが自然の流れ。これだけは、どうあがいても時間に任せるしかないことですが、せめて桜を鑑賞する間だけは、ゆつたりとした時間の流れを感じたいものです。

編集雑記

ひとりごと